

多系統萎縮症の病理組織を用いた研究についてのお知らせ

国立病院機構医王病院では、病理解剖にご協力いただきました方の組織を用いた国際的な多施設共同研究を行っております。この研究は、当院遺伝子に関する倫理審査委員会において2019年6月28日に承認されました。本研究は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に沿って行う必要があり、研究内容の情報を公開することが必要とされているため、当院のホームページ上に掲載いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	剖検で確認された多系統萎縮症におけるゲノムワイド関連解析
研究機関	ミュンヘン工科大学（研究責任施設）および研究協力機関
研究参加国	米国, カナダ, イギリス, ドイツ, フランス, スイス, チェコ, オーストリア, スウェーデン, オーストラリア, 日本
研究責任者	Günter U. Höglinger (ミュンヘン工科大学)
研究の目的	多系統萎縮症における疾患感受性遺伝子を検索する
研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる方： 当院で病理解剖にご協力いただいた方で、多系統萎縮症と病理診断された方 ・利用させていただく臨床情報および試料： 年齢・性別・症状などの臨床情報・病理学的所見・凍結脳組織 ・研究の方法： 凍結脳組織1cmをドイツに送付し、DNAを抽出し、正常対照者と比較します。
個人情報の取り扱い	<p>お名前・住所など個人が特定できる情報は削除した上で解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で公表されますが、個人を特定できる情報は利用されません。当該研究に使われることを望まれない方の記録・資料は研究には用いませので、下記連絡先担当者にご連絡いただければ幸いです。</p> <p>また、この研究で使用された試料やデータは、個人が特定できる情報を削除した上で研究機関に保存され、今後、多系統萎縮症を含む、脳神経筋疾患の原因や病態解明のための研究に用いられることがあります。ただし、倫理審査委員会で承認された研究に限られます。海外の研究協力機関での保存、将来的に倫理審査委員会で承認された研究への参加を望まれない方は、下記連絡先担当者にご連絡いただければ幸いです。</p>
遺伝カウンセリングについて	<p>この研究は、病気にかかる傾向について、多くの方のデータを収集して探ることが目的ですので、対象となられた方お一人お一人の遺伝性の有無が決定される検査ではありません。そのため、お一人お一人の結果をご遺族にお知らせすることはありません。しかし、病気が遺伝するかどうかなど、病気の遺伝に関する疑問やご不安については、「遺伝カウンセリング」を受けていただくことが可能です。詳細はまず、下記連絡先までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	〒920-0192 石川県金沢市岩出町二 73 番地 1 電話 076-258-1180 国立病院機構医王病院 脳神経内科 担当医師 石田千穂